

①

私が住みたい町

私は塾に行きたくても、行けない日が多々あります。なぜ、私が塾に行きたいのかという点、中学受験をしたいたからです。地域の中学校は近いけど、生徒数が少ないので、大きな集団に苦手を気持ちもちが成長しないからです。でも、私の行きたい塾は、鹿児島中央駅の近くにあります。家からは車で1時間くらいかかります。いつも父母が仕事や用事の都合をつけて、送迎してもらわなければなりません。

そこで私は二つ案を考えました。一つ目は私がいつも通っている塾が私の家の近くに来るので、もしたらいつでも塾に行けるしお母さんが送り迎えしなくてもすむからです。でもそれだと塾に通っている他の子たちに迷惑をかけるしまうので、もう一つ案を考えました。それは、先生が分れることです。これだとだれにも迷惑をかけるないので、自分も助かる。それに先生ももうかるので一石二

2

鳥です。

そこで、この2つ目の案について、私が考えたプランを説明します。

①季節分裂型、②一日の時間分裂型、③対象分裂型の三つに分けます。普通の塾は、学年ごとに時間を決めている所が多いです。でも私の塾の先生は、どの学年が来ても、同じ時間帯でも対応できます。その点、ここらを使って考えました。

①は、春夏秋冬の季節ごとに教室が移動する、^{②-①}②は、早朝と夜おえくと昼間と夕方、先生が移動する、^{②-③}③は、受験を目指す生徒の時間と勉強がよく分らない生徒に教える時間と、学校に行きたくても行けない生徒に教える時間を分けて、先生が移動する。

これなら、私が行きたい時にけい画的に追うことが出来るし他の生徒もこの塾にけい画的に行くことが出来る。先生も決山の生徒が来るのびもうかるはずだ。私の塾は、他の塾とはちが、たどりームの授業やミステリー

流

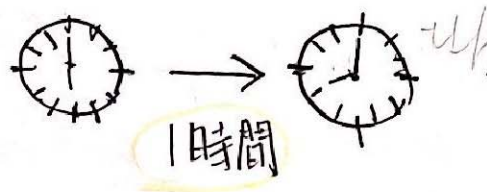
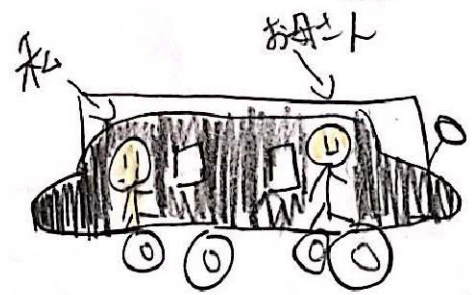
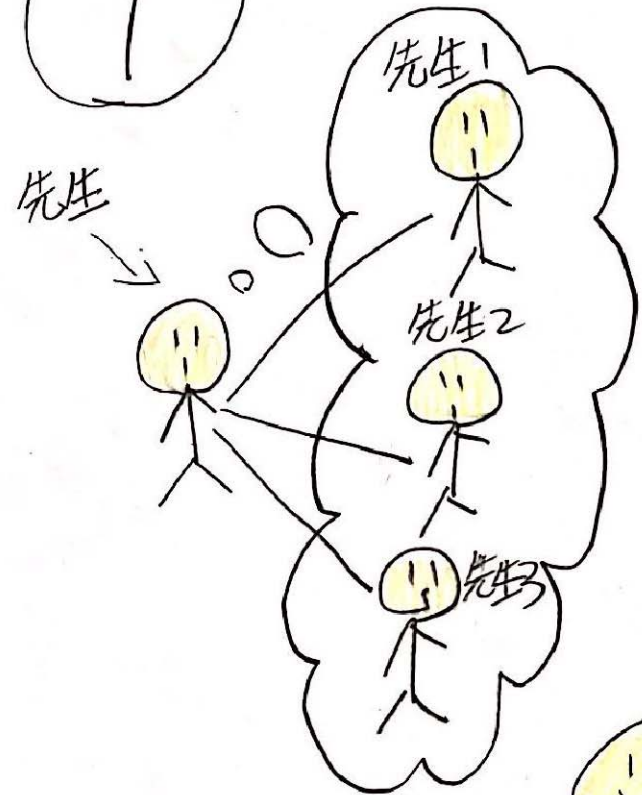
③

3

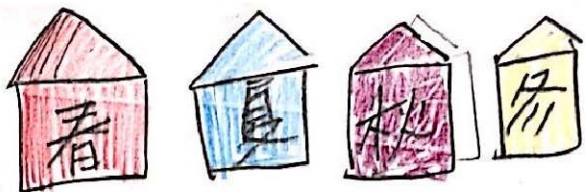
の授業のプログラムがあります。

このプログラムはみんなが考えたことのないような楽しいことをは、そうしたり、実際に調べてホワイトボードに書いてプレゼンしたりします。私は人前で自分の考えを話すことはとても苦でた、たけれども、変わりました。だからこの分科型をすればこれまでにみんなおもしろい勉強のし方をあちこちにひろめることができそうです。そうすれば町の子供たちも色々なアイデアを出されるようになりそうです。私はできないことをなやまよりもどうしたらできるかを考える子供を増したことです。もしたら大人にな、たとき困っている人を助けられる町ぐるみにやくだつ人になれると思います。

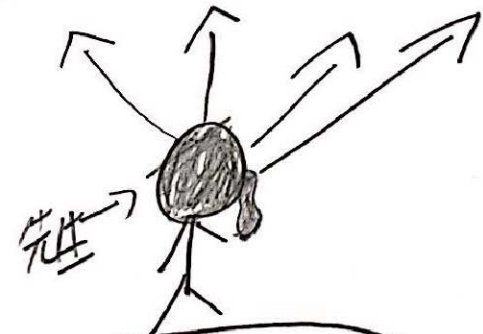
1



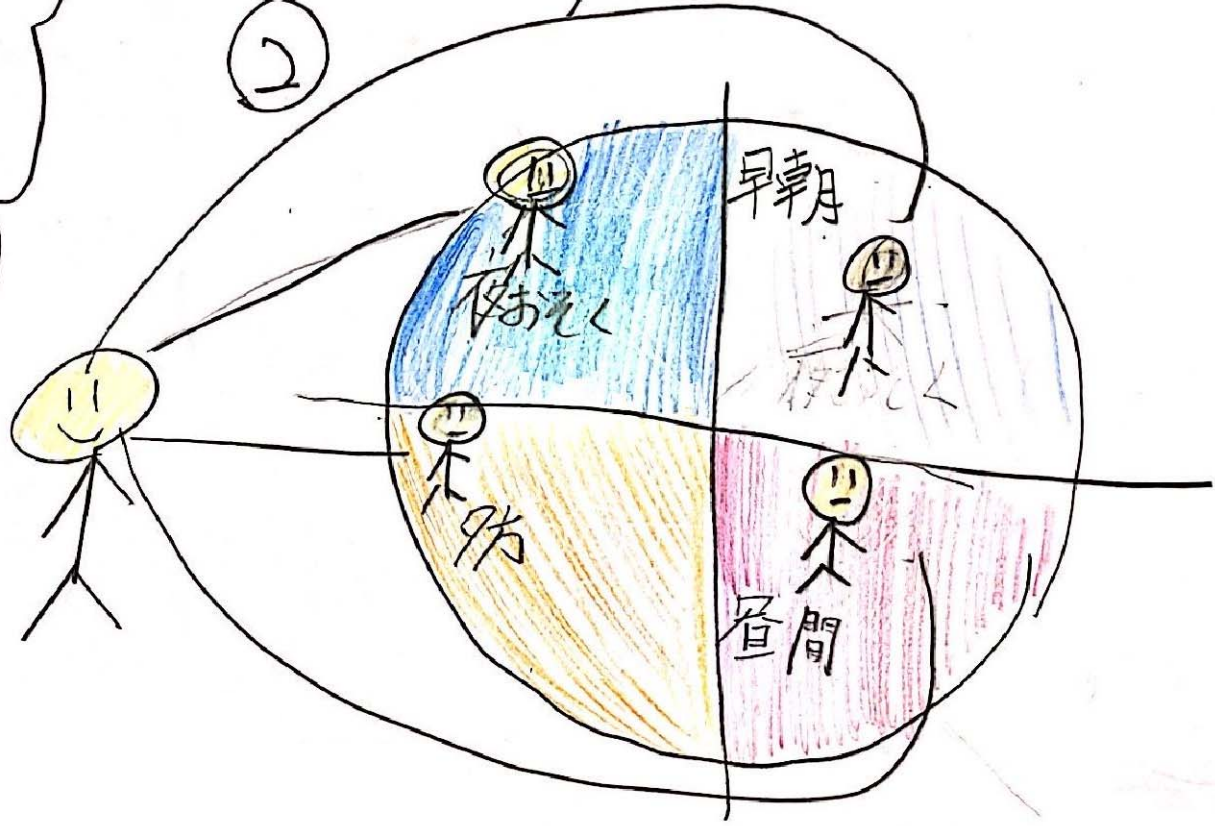
2



1



2

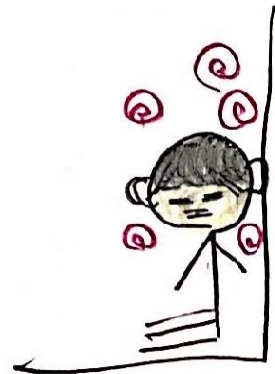




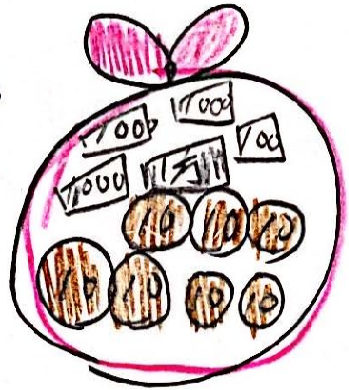
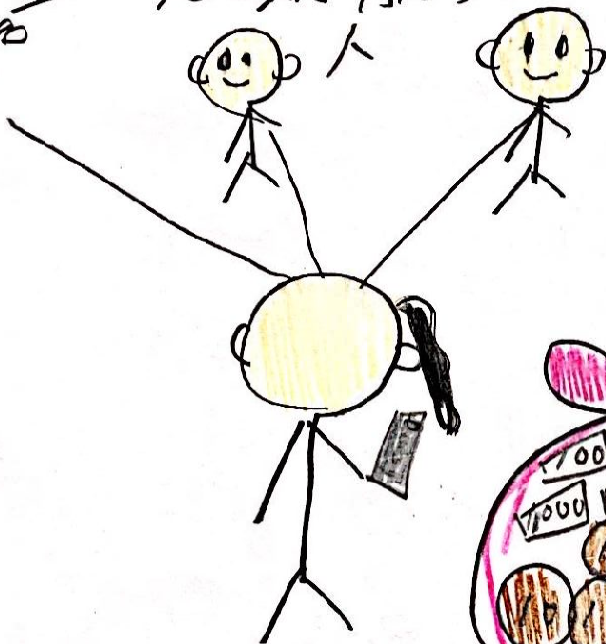
受験生



勉強が分からない人

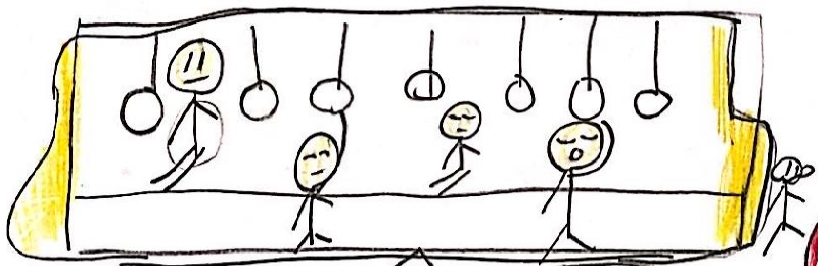


学校に行けない人

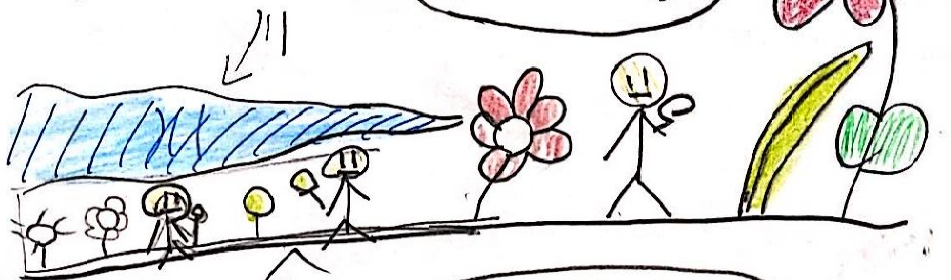


3

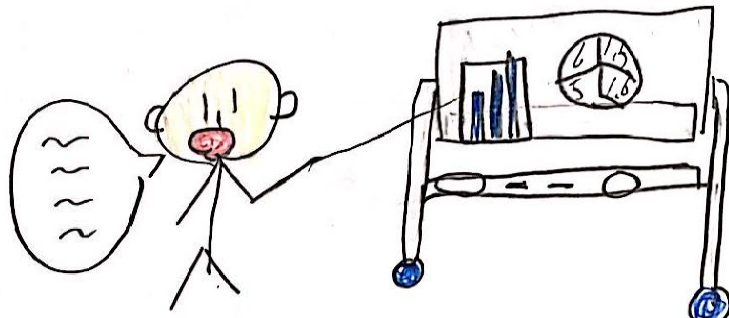
電車



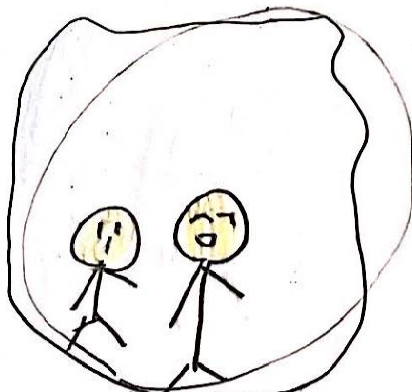
社会調査



牧野富太郎
植物学者
なつり

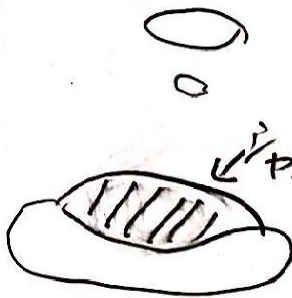


プレゼン



← 実験室の中

わあ!
た...



← 実験室の中

実験